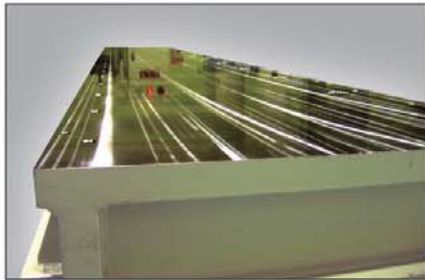


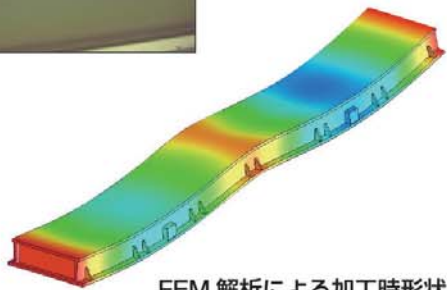
横河ブリッジの技術開発力

■ 研削加工の省略化

横河ブリッジの加工技術・計測技術・解析技術を結集し、研削加工を必要とする超高精密な大型部品を切削加工で仕上げます。これにより、加工コストの低減、リードタイムの短縮を実現します。

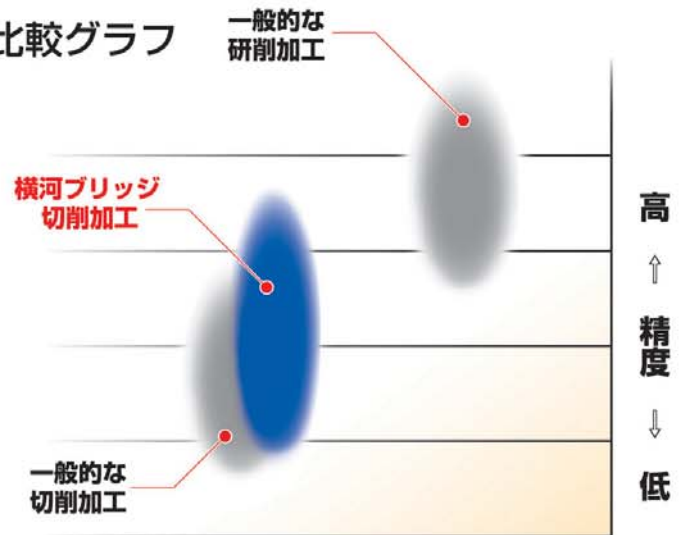


大型部品の精密加工



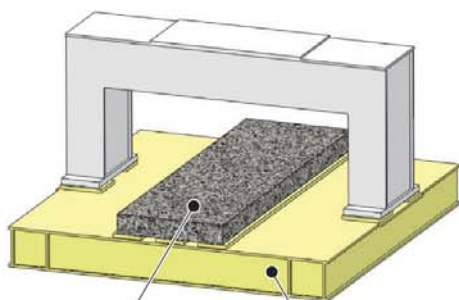
FEM 解析による加工時形状

■ 比較グラフ



■ 温度変化に強い複合構造定盤の開発

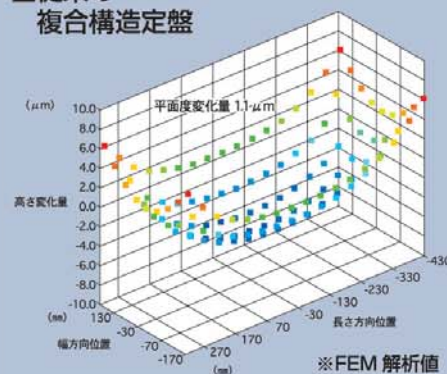
定盤ガイド面に石、架台部分に製缶構造を用いた、高精度で低コストな複合構造盤を開発しました。横河ブリッジ独自の技術により、複合構造の弱みである、熱膨張率違いによる形状変化を大幅に低減させた「温度変化に強い定盤」です。



ガイド面(石) 架台(製缶)

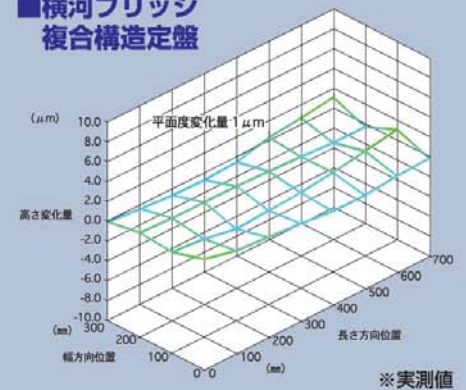
複合構造定盤の適用例

■ 従来の複合構造定盤



※FEM 解析値

■ 横河ブリッジ複合構造定盤



※実測値

温度変化による平面度変化量を従来構造に比べて1/10以下に低減

複合構造定盤 (0.4×0.8m) の温度変化 (Δ4℃) 時のガイド面平面度変化量

横河ブリッジは製缶を超えた製缶を追求します